

令和5年度 事業報告

しごと 部会

部会長 徳永 加奈恵 副部会長 坂口 智教 小林 弘明 大島 祥子
運営委員会担当者 綿貫 好子 ケアマネ連絡会担当者 二木 里美 浅井 芙美子

長野市障害福祉課担当者 前島 佑季子

1 年間テーマ

テーマ「つながる」

サブテーマ「事業所同士がつながり、気軽に話し合える」「やってみたいことを企画し、知りたいことを学ぶ」

2 部会等の開催状況

| 日時 | 会場 | 人数 (人) | 部会のテーマ | 主な内容 | |
|----|----|------------------------|--------------------------------|---|---|
| | | | | | 月 |
| 5 | 10 | 長野市ふれあい 福祉センター | 48人 | 支援者の顔を知ろう！ 部会を通じて伝えたい！ | ・名刺交換会 ・グループワーク 今年度取り組みたいこと 悩み・課題等、意見交換 |
| 6 | 20 | 長野市ふれあい 福祉センター | 32人 | 就労支援って？ | ・グループワーク 就労支援の悩み 地域資源・制度の活用法 |
| 8 | 22 | ハーモニー 桃の里 | 14人 | 高齢化について | ・グループワーク 利用者の高齢化についての課題 |
| 9 | 22 | 長野市 芸術館リサイ タルホール | 70名 | 「働く」から考える共生社会 みんなが主役みんなでつくる 「共に働く ～すべての職場に 障がい者雇用を～ | ・障がい者雇用優良事業所等 表彰 ・取り組み事例の紹介 ・パネルディスカッション |
| 10 | 26 | 長野市役所 | (出店) 11事業所 (来場者) 180人 | ふくしネットフェスタにて 販売 | ・福祉事業所による販売 |

令和5年度 事業報告

| | | | | | |
|----|----|-------------------|-----|------------------------------|---|
| 11 | 30 | 吉田公民館 (ノルテナガの) | 42人 | 学習会 「就労系福祉サービスの 役割と動向」 | ・厚生労働省の方を講師に迎え、 「就労系福祉サービスの役割と動向」 について学ぶ。 |
| 12 | 5 | 吉田公民館 (ノルテナガの) | 43人 | 学習会 「薬の知識」 | ・長野赤十字病院の方を講師に迎え、 「薬の知識」について学ぶ。 |
| 2 | 22 | 長野市ふれあい 福祉センター | 17名 | 今年度の振り返りと 次年度に向けて | ・令和5年度活動報告 ・次年度の活動について検討 |

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・第7回 企業懇談会を障がい者雇用優良事業所等表彰と合同で行った。

4 課題について

(1)主な検討課題

- ・しごと部会の活性化(事業所参加を促進し、長野市全体で就労を盛り上げていくこと)
- ・企業と障害者を結び付けていくこと
- ・利用者の高齢化
- ・就労系福祉サービスの役割や就労選択支援などの施策についての学習

(2)検討の目的と結果(現状)

- ・対面での活動ができるようになり、部会への参加事業所が増えつつある。
- ・雇用フォーラムにて障害者雇用の取り組みについての発表を行い、多くの方にご来場いただいたが、企業の参加は少なかった。引き続き、企業に向けて知っていただく機会を設けていく。
- ・利用者の高齢化については、しごと部会のみならず、課題が多岐にわたるため、サービスの垣根を越えての連携が必要。
- ・就労系福祉サービスの役割の理解については学びを深めているが、事業所によって課題が異なるため、次年度は各サービスの連絡会を通して、意見交換をしていきたい。
- ・就労選択支援の理解促進と今後の取り組みについての情報共有をしていくことが必要。

令和5年度 事業報告

(3)引き続き検討が必要とされる課題

- ・障害者雇用の促進
- ・企業との連携
- ・利用者の高齢化について
- ・就労選択支援について
- ・大規模災害時の支援体制の連携

(4)部会の運営体制について

- ・執行部が主催する企画に各事業所・関係機関(部会員)が参加する形になっているため、部会員が主体的に企画や運営を担っていけるような体制づくりができるとうい。
- ・執行部会員の入れ替わりが少なく、次世代につながりにくいことが課題。

(次年度に向けて)

- ・A型、B型、就労移行の3つの連絡会を作り、地域課題についての検討等を行う。
- ・新規会員の勧誘と循環していけるような体制づくりを行う。

5 総括(1年間を振り返って)

今年度は「つながる」をテーマに「事業所同士がつながり、気軽に話し合える」場所になるような活動を行うことができた。コロナが5類になり、対面で集えるようになり、どの事業所も積極的に意見交換をし、学びを深める機会となった。

しごと部会は、福祉関係者だけの活動ではなく、障がい者雇用を進めたい企業担当者やそれをサポートするハローワーク、ポツセンター、特別支援学校や一般校の先生方、医療関係の方など、多職種の方に参加していただいている。

次年度も、障がいのある方が地域で「はたらく」ことを盛り上げていける部会にしたい。